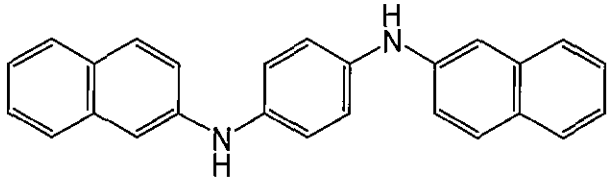
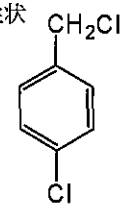
整理番号 K－1761 (NEDO 336, 4－0346)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N, N'－ジー2－ナフチル－*p*－フェニレンジアミン	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
(93-46-9)	試験期間 17. 8. 1～17. 9. 28	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
分子式 $C_{26}H_{20}N_2$ 分子量 360.45	試験結果 間接 BOD -2, -1, -1 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 0, 0, 1 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 96.0% / 外観 灰色粉末			
不純物（物質名，含有率）残り4.0%は不明 / 溶解度（対水，その他）対水 100 mg/L 以下(25℃) 対テトラヒドロフラン 10 g/L 以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 235℃	判定	判定	判定
沸点 / 1－オクタノール／水分配係数 log Kow = 6.39 (Kowwin v 1.67による計算値)	備考	備考	備考
比重*2 d 1.20	1. 回収率 (水＋被験物質) 系 94.9% (汚泥＋被験物質) 系 94.7%		
LD50*3 4,500 mg/kg(oral, rat) / 安定性			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*4 有機ゴム薬品（老化防止剤、銅害防止剤）	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		
生産量			
試料 購入先 東京化成工業	3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 有機化合物辞典（講談社）による。 *3 東京化成工業MSDSによる。 *4 14705の化学商品（化学工業日報社）による。

整理番号 K－1744 (3－0091)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
4－クロロベンジルクロリド (104-83-6)	事業対象年度 平成16年度	指示 年 月 日	指示 年 月 日
	試験期間 17. 4.22～17. 6. 2	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
分子式 $C_7H_6Cl_2$ 分子量 161.03	試験結果 間接 BOD −10, −9, −9 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
純度*1 99.8% / 外観 無色透明の液体	試験結果 直接 HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 直接	試験結果 直接
不純物*1（物質名，含有率） 残り 0.2%は不明 / 溶解度（対水，その他） 対水 55.8 mg/L (20℃)（被験物質の加水分解が起こっている状態で測定した値） 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 26.8℃ / 1－オクタノール／水分配係数 Log Pow = 3.63（フラスコ振とう法）	判定	判定	判定
沸点 223.2℃			
蒸気圧 9.33×10^{0} Pa (25℃) / 加水分解性 (25℃における半減期) pH4 24.9 時間 pH7 24.8 時間 pH9 25.0 時間			
密度			
LD_{50}*2 790 mg/kg (経口，マウス) / 解離定数			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*2 染料、顔料、廃棄・農薬中間体			
生産量			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			



備考

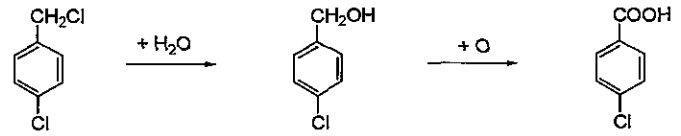
1. 回収率※
（水＋被験物質）系 100%
（汚泥＋被験物質）系 100%
※試験液を直接分析機器に導入。

2. 実施機関
・財団法人 化学物質評価研究機構

3. 特記事項
・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

・被験物質は全て変化し、*p*-クロロベンジルアルコール (3-1050, log Kow = 1.72*3) 及び *p*-クロロ安息香酸 (3-1424, log Kow =2.52*3) を生成し、残留した。

・変化の経路

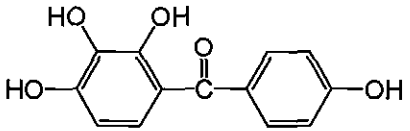


被験物質　*p*-クロロベンジルアルコール　*p*-クロロ安息香酸

*1 和光純薬工業添付資料による。　*2 14705の化学商品（化学工業日報社）による。　*3 Kowwin v 1.67による計算値

整理番号 K－1742 (4－1531)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2，3，4，4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン	事業対象年度 平成16年度	指示 年 月 日	指示 年 月 日
(31127-54-5)	試験期間 17. 4. 8～17. 6. 7	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮

構造式（示性式）・物理化学的性状

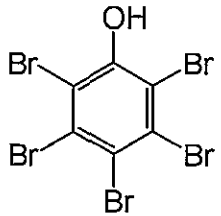


分子式 $C_{13}H_{10}O_5$　　分子量 246.22

純度 100.1%	外観 黄色粉末		
不純物（物質名，含有率）	溶解度（対水，その他） 対水 126mg/L(20℃)(フラスコ法) 対メタノール 10g/L 以上		
融点 220.3～221.5℃	1－オクタノール／水分配係数 log Pow = 0.9(pH2) (HPLC 法)		
沸点 313.5℃(270℃付近で褐色から黒色に変化した)			
蒸気圧 3.35×10^{-4} Pa 以下 (80℃)	加水分解性(25℃における半減期) pH4 加水分解性なし pH7 20.0 時間　pH9 5.33 時間		
密度			
LD_{50}	解離定数 測定不可		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途* 中間物、添加剤			
生産量*（13年） 製造及び輸入 10,000～100,000 t 未満			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-EP			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

試験濃度	試験濃度	試験濃度
被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
試験結果 間接 BOD 4, 7, 5 (5)%	試験結果 間接	試験結果 間接
試験結果 直接 TOC 41, 35, 34 (36)%	試験結果 直接	試験結果 直接
試験結果 直接 HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 直接	試験結果 直接
審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
判定	判定	判定
備考 1. 回収率※ （水＋被験物質）系 100% （汚泥＋被験物質）系 100% ※ 試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・被験物質は全て変化し、水溶性変化物及び高分子化した変化物を生成し、残留した。変化物は構造推定に至らなかった。	備考	備考

＊ 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

整理番号 K－1748 (3－2849)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペンタブロモフェノール (608-71-9)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 2.15～17. 5.25	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -7, -2, -13 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 3, 0, 0 (1)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式 C_6HBr_5O 分子量 488.59			
純度*1 99.9%	外観 Beige powder		
不純物*1（物質名，含有率） 残り 0.1%は不明	溶解度（対水，その他） 対水 1.07mg/L(25℃) (カラム溶出法) 対メタノール 10g/L 以上 対テトラヒドロフラン 10g/L 以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 227～229℃		判定	判定
沸点	1－オクタノール／水分配係数 log Kow = 5.96 (Kowwin v 1.67 による計算値)	備考 1. 回収率 （水＋被験物質）系 99.4% （汚泥＋被験物質）系 98.6% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考
比重			
LD_{50}*2 200 mg/kg(oral, rat)	解離定数*3 pKa = 4.62		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量（ 年）			
試料 購入先 AVOCADO RESEARCH CHEMICALS LTD.			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 AVOCADO RESEARCH CHEMICALS LTD.添付資料による。 *2 Dictionary of Organic Compounds (6th edition)による。
*3 The Physical Properties Database (Syracuse Research Corporation)による。

濃縮度試験	事業対象年度　平成１７年度
試験期間	１７．　６．１０～１７．１０．１２
試験装置 (標)・揮	LC50値　0.251 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)
水槽設定濃度 (μg/L)	

	被験物質	分散剤		
		HCO-40	2-メトキシエタノール	
第１濃度区	2	1	50000	
第２濃度区	0.2	0.1	50000	
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 3.62%　終了後 4.12%　魚種(コイ)

		6日後	12日後	18日後	25日後	28日後
第1	水槽濃度 (μg/L)	2.02	2.11	1.99	1.89	2.10
	倍率	≦1.9	≦1.9	≦1.9	≦1.9	≦1.9
		≦1.9	≦1.9	≦1.9	≦1.9	≦1.9
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.188	0.184	0.205	0.194	0.202
	倍率	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20
		≦20	≦20	≦20	≦20	≦20
第3	水槽濃度 (　)					
	倍率					

審査部会　第４９回　１７年　１１月　１８日　開催

判定結果

備考　[検出器] LC-MS

[定常状態における濃縮倍率]　第１濃度区　1.9倍以下
第２濃度区　20 倍以下

[回収率]
試験水　第１濃度区　91.4%
第１濃度区　96.3%
供試魚　79.3%

[定量下限濃度]
試験水　第１濃度区　0.061 μg/L
第２濃度区　0.0058μg/L
供試魚　3.8 ng/g

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

濃縮度試験	
試験期間	.　.　～　.　.
試験装置　標・揮	LC50値　mg/L(　hr)魚種(　)
水槽設定濃度 (　)	

	被験物質	分散剤		
第１濃度区				
第２濃度区				
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 %　終了後 %　魚種(　)

		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度 (　)					
	倍率					
第2	水槽濃度 (　)					
	倍率					
第3	水槽濃度 (　)					
	倍率					

審査部会　第　回　年　月　日　開催

判定結果

備考

毒性試験	
依頼	年　月　日
経過	

整理番号 K－1647 (NEDO 216, 3－2232)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1，5－シクロオクタジエン (111-78-4)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 7.27～17. 9.22	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 標・(揮)	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -7, -9, -7 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 GC 3, 4, 1 (3)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式 C_8H_{12} 分子量 108.18			
純度*1 99.2% / 外観 ごくうすい黄色透明液体			
不純物（物質名，含有率） / 溶解度（対水，その他） 対水 77.3 mg/L(25℃)(フラスコ法) 対ヘキサン 9.7 g/L 以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -70～-69℃	判定	判定	判定
沸点*2 150.8℃(757 mmHg) / 1－オクタノール／水分配係数 log Pow = 3.26 (フラスコ振とう法)	備考 1.回収率 (水＋被験物質)系 95.4% (汚泥＋被験物質)系 95.9% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・炭酸ガス吸収剤として水酸化ナトリウム溶液を使用した。	備考	備考
密度*1 0.881 g/cm³(20℃)			
LD50 / 安定性			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002/5)による。

濃縮度試験	事業対象年度	平成１７年度
試験期間	１７．８．２９～１７．９．９	
試験装置 標・揮	LC50値 mg/L(hr)魚種( )	
水槽設定濃度 ( )		

	被験物質	分散剤		
第１濃度区				
第２濃度区				
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種( )

		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度( )					
	倍率					
第2	水槽濃度( )					
	倍率					
第3	水槽濃度( )					
	倍率					

審査部会　第４９回　１７年　１１月　１８日　開催

判定結果

備考

分配係数から類推

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

濃縮度試験	
試験期間	．．～．．
試験装置 標・揮	LC50値 mg/L(hr)魚種( )
水槽設定濃度 ( )	

	被験物質	分散剤		
第１濃度区				
第２濃度区				
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種( )

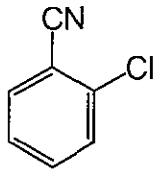
		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度( )					
	倍率					
第2	水槽濃度( )					
	倍率					
第3	水槽濃度( )					
	倍率					

審査部会　第　回　年　月　日　開催

判定結果

備考

毒性試験	
依頼	年　月　日
経過	

整理番号 K－1735 (NEDO 294, 3－1785)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
o－クロロベンゾニトリル (873-32-5)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 16. 6.29～16. 9. 3	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 0, 0 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 5, 5, 4 (5)%	試験結果 直接	試験結果 直接
	試験結果 直接 HPLC 3, 2, 2 (2)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式 C_7H_4ClN 分子量 137.57			
純度*1 99.2% / 外観 淡黄色結晶性塊			
不純物（物質名，含有率）残り 0.8%は不明 / 溶解度（対水，その他）対水 791 mg/L(25℃)(フラスコ法)	審査部会 第40回 16年12月17日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 44.8℃	判定 難分解性	判定	判定
沸点*2 232℃ / 1－オクタノール／水分配係数 log Pow = 2.0 (HPLC法)	備考	備考	備考
密度 1.370 g/cm³(25℃)			
LD50*3 453mg/kg(oral, rat) / 解離定数 解離性なし			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-EP			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

備考

1. 回収率※
（水＋被験物質）系 100%
（汚泥＋被験物質）系 100%
※試験液を直接分析機器に導入。

2. 実施機関
・財団法人 化学物質評価研究機構

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
*3 Dictionary of Organic Compounds (6th edition) による。

濃縮度試験	事業対象年度	平成１７年度
試験期間	１７．８．２２～	．　．
試験装置　標・揮	LC50値　mg/L(　hr)魚種(　)	
水槽設定濃度　(　)		

	被験物質	分散剤		
第１濃度区				
第２濃度区				
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 %　終了後 %　魚種(　)

		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度(　)					
	倍率					
第2	水槽濃度(　)					
	倍率					
第3	水槽濃度(　)					
	倍率					

審査部会　第４９回　１７年　１１月　１８日　開催

判定結果

備考

分配係数から類推

［実施機関］財団法人 化学物質評価研究機構

濃縮度試験	
試験期間	．　．～　．　．
試験装置　標・揮	LC50値　mg/L(　hr)魚種(　)
水槽設定濃度　(　)	

	被験物質	分散剤		
第１濃度区				
第２濃度区				
第３濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 %　終了後 %　魚種(　)

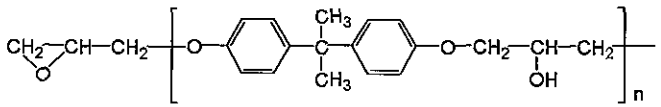
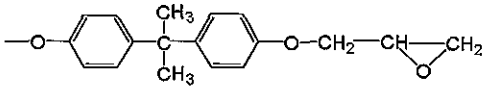
		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度(　)					
	倍率					
第2	水槽濃度(　)					
	倍率					
第3	水槽濃度(　)					
	倍率					

審査部会　第　回　年　月　日　開催

判定結果

備考

毒性試験	
依頼	年　月　日
経過	

整理番号 K－1576 (NEDO 60, 7－1279)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
4,4'ーイソプロピリデンジフェノール・1ークロロ－2, 3ーエポ	契約 13年 3月 28日	契約 年 月 日	契約 年 月 日
キシプロパン重縮合物	試験期間 13.11. 6～14. 4.10	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
[別名：ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)] (25068-38-6)	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
PRTR 1-30	試験濃度	試験濃度	試験濃度
構造式（示性式）・物理化学的性状	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 0, 0 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
n=0～2	試験結果 直接 HPLC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
組成式 $C_{5.18}H_{5.97}O$（元素分析による）			
純度*1 100% / 外観 無色透明液体			
不純物（物質名，含有率） / 溶解度（対水，その他） 対水 4.3 mg/L(20℃)（フラスコ法） 対テトラヒドロフラン 10 g/L 以上	審査部会 第13回 14年 4月23日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 測定不可	判定 難分解性	判定	判定
沸点 測定不可 / 1ーオクタノール／水分配係数 log Kow = 7.22(n=1)（Kowwin v 1.67による計算値）	備考		備考
比重	1. 回収率 （水＋被験物質）系 96.7% （汚泥＋被験物質）系 92.6%		
LD50*2 10,000～11,400 mg/kg（経口、ラット） / 安定性	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		
IRチャートの有無 (有)・無	3. 特記事項 ・被験物質は7社提供サンプルを等量混合したものを用いた。 ・被験物質は試験液中で一部変化（エポキシ部分の開環）した。しかし、被験物質と変化物の分離分析が困難であったため、HPLC 分析の結果は変化物を含めて算出した。		
用途*2 塗料、接着剤、電気絶縁材料			
生産量			
試料			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 HPLCによる。 *2 14705の化学商品（化学工業日報社）による。

濃縮度試験	事業対象年度　平成１６年度
試験期間	１６．１１．２５ ～ １７．　７．２８
試験装置 (標)・揮	LC50値　1.41 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)
水槽設定濃度　(μg/L)	

	被験物質	分散剤		
		HCO-40	2-メトキシエタノール	
第１濃度区	10	10	39000	
第２濃度区	1	1	39000	
第３濃度区				

濃縮倍率 (ピーク 1:n=0)　脂質含有率 開始前 2.69% 終了後 3.27%　魚種(コイ)

		7日後	10日後	18日後	23日後	28日後
第1	水槽濃度 (μg/L)	8.93	9.14	9.13	9.22	9.14
	倍率	≦0.56	≦0.56	≦0.56	≦0.67	≦0.67
		≦0.56	≦0.56	≦0.56	≦0.67	≦0.67
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.944	0.869	0.925	0.910	0.890
	倍率	≦5.6	≦5.6	≦5.6	≦6.8	≦6.8
		≦5.6	≦5.6	≦5.6	≦6.8	≦6.8
第3	水槽濃度 (　)					
	倍率					

濃縮倍率 (ピーク 2:n=1)　脂質含有率 開始前 2.69% 終了後 3.27%　魚種(コイ)

		7日後	10日後	18日後	23日後	28日後
第1	水槽濃度 (μg/L)	9.96	9.85	10.0	9.94	10.0
	倍率	≦3.3	≦3.3	≦3.3	≦4.2	≦4.2
		≦3.3	≦3.3	≦3.3	≦4.2	≦4.2
第2	水槽濃度 (μg/L)	1.00	1.01	0.991	1.01	0.971
	倍率	≦33	≦33	≦33	≦42	≦42
		≦33	≦33	≦33	≦42	≦42
第3	水槽濃度 (　)					
	倍率					

審査部会　第 ４９ 回　１７年　１１月　１８日　開催

判定結果

備考

	ピーク1	(7,10及び18日後)	(23及び28日後)	ピーク2	(7,10及び18日後)	(23及び28日後)
[濃縮倍率]	第1濃度区	≦0.56倍	≦0.67倍	第1濃度区	≦ 3.3倍	≦ 4.2倍
	第2濃度区	≦5.6 倍	≦6.8 倍	第2濃度区	≦33 倍	≦42 倍

[回収率]

試験水	ピーク1	98.6%
	ピーク2	87.0%
供試魚	ピーク1	97.8%
	ピーク2	92.5%

[定量下限濃度]

第1濃度区		(1,7,10及び18日後)	(23及び28日後)
試験水	ピーク1	0.51μg/L	0.62μg/L
	ピーク2	3.5 μg/L	4.4 μg/L
供試魚	ピーク1	5.1 ng/g	6.2 ng/g
	ピーク2	33 ng/g	42 ng/g

第2濃度区		(1,7,10及び18日後)	(23及び28日後)
試験水	ピーク1	0.051μg/L	0.062μg/L
	ピーク2	0.35 μg/L	0.44 μg/L

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

備考

	分子量	量比
n=0	340.41	86%
n=1	642.76	13%
n=2	909.11	1%

n=2 成分は分子量 800 以上のため、濃縮度試験の対象としなかった。

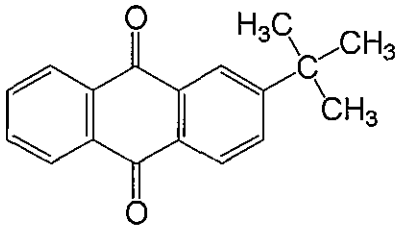
被験物質は試験水中での変化(エポキシ部分の開環)は認められなかった。

供試魚からエポキシ部分の開環と考えられる代謝物が検出されたが、構造推定に至らなかった。

毒性試験

依頼	年　月　日

経過

整理番号 K－1709 (NEDO 280, 4－0687)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2－tert－ブチルアントラキノン (84-47-9)	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 15.10.10～15.12.18	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
分子式 $C_{18}H_{16}O_2$ 分子量 264.32	試験結果 間接 BOD 1, 0(-1), 0(-1) (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 99.0% / 外観 黄色針状晶	審査部会 第32回 16年 3月17日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物（物質名，含有率） / 溶解度（対水，その他）対水 165μg/L (25℃) (カラム溶出法) 対2-メトキシエタノール 10 g/L 以上 対ヘキサン 10 g/L 以上 対酢酸エチル 10 g/L 以上	判定 難分解性	判定	判定
融点*2 103.7℃	備考	備考	備考
沸点*1 350℃以上 / 1－オクタノール／水分配係数 log Kow = 5.25 (Kowwin v 1.67による計算値)	1. 回収率※ (水＋被験物質) 系 100% (汚泥＋被験物質) 系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。		
密度 1.257g/cm³(25℃)	2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所		
LD50 / 安定性	3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 有機化合物辞典（講談社）による。